

学校教育目標	「ふるさと東陽を愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生き、夢実現に向け未来を切り拓く東陽っ子の育成」			
経営の方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 命の尊さを学び、さまざまな体験活動を通し、思いやりの心や協調心など豊かな心の育成に努める。 2 確かな学力の育成を目指し、基礎・基本の定着を図り、わかる授業の創造に努める。 3 進んで運動に親しみ、体力・運動能力の向上を目指し、健康安全への意欲を高める。 4 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、学校教育環境の整備を図る。 5 地域・保護者の信頼に応え、地域に根ざした学校づくりを推進する。 			
	重点努力事項	成果 及び 課題等	自己評価	本年度の改善策等
心の教育の推進	(1)人権尊重の精神の涵養を図る 人権教育の推進	○集会・講話及び人権教育の授業実践等により、自分と同じように相手のよさを認めることの大切さを考えさせることができた。 ●人権を確かめ合う日等日常の取組の充実をさらに図る必要がある。	① 3.0 ② 3.1	2.8 <ul style="list-style-type: none"> ・集会、講話等の実施・充実 ・人権尊重の視点に立つ授業の取組 ・あいさつ運動の推進 ・心に響く道徳の授業の創造 ・たてわり班活動等集団活動を通じた望ましい人間関係の構築 ・児童の実態・状況の把握 (生活アンケート、教育相談等) ・児童理解の時間の継続実施及び内容の充実
	(2)「道徳の時間」及び特別活動の充実	○年間指導計画に沿った、授業実践を行うことができた。 ○校内研修の授業実践等により、各自の取組の振り返りができた。 ●展開、発問を工夫し更に深まりのある授業創造を図る必要がある。	① 2.7 ② 2.8	
	(3)いじめ・不登校ゼロの学校・学級づくり	○教育相談、アンケート等を活用し、いじめ解消に向けた取組の実施。 ○一声運動、愛の1・2・3運動、全職員での取組等を継続し不登校の解消及び未然防止に向けた取組を推進している。 ●いじめ解消及び未然防止に向けた取組の深化、継続が求められる。 ●教育相談の時間の充実のための時間確保が課題である。	① 3.1 ② 3.1	
	(4)基本的な生活習慣の徹底	○生活目標を設定し、児童が意識して生活することを心がかせた。 ・あいさつ、廊下での安全、室内の過ごし方等については指導を重ねよい面も見られるが、更に指導の継続、徹底が必要。 ●早寝、早起き等、三点固定運動の浸透がなかなかできない。	① 2.8 ② 3.1	

	講 評	評定	今後の改善方策
学 校 関 係 者 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育を推進するために、人権学習が行われており、善悪の判断力や協力し助け合うことの大切さを学び、子どもたちが生き生きとした学校生活を送ることができると思う。そのためにも、いじめ等を無くすための取組を強化してほしい。 ・ 一人一人が大事にされ、目が行き届いている。子どもの表情、地域内での挨拶の交わり等から、学校の中でも地域の中でも自分の存在感を感じていると思う。 ・ 子どもたちが自分を見直すことができるアンケートは、これからも必要だと思う。今年度から、東陽小学校として三校が一緒になり、スタートしたが、問題もなく1年が無事過ごせたと思う。これまでの三校の交流の成果が出たと思う。子どもたちも一体となって学校生活を送っていると感じた。様々な課題も、学校と保護者の連携により改善されていくと期待している。 ・ 基本的な生活習慣もアンケートでは改善されてきているので、今後も指導をお願いしたい。 ・ 東陽小としての発足一年目は、とても充実した印象を受けた。先生方も児童も保護者も、良い学校にしていこうという気持ちで取り組まれた一年だったのではなかったかと思う。その気持ちを授業に臨む子どもたちの真剣な目に強く感じた。 ・ 学校へ行く度に、子どもたちがとても元気にあいさつをしてくれる。表情もとても良い。充実した学校生活を送っているのが良くわかる。子どもたちが楽しく毎日を送っているのは、見ていて微笑ましい。保育園でも、思いやりの心と強い心をもった子どもに育ってくれるよう、一人一人に細やかに関わっていきたいと思う。 ・ 児童間の争いやけんかの場面を見たことがない。登校班でもお互い声をかけ合って早めの登校を心がけているようだ。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育を学校教育の基盤に置き、人権尊重の精神の涵養を図る取組を継続、更に深化させていく。 ・ 道徳教育、特別活動の一層の充実を図り、児童が自己有用感、達成感をもつことが出来るよう、心に届き心に響く取組を推進をする。 ・ 不登校・いじめの無い、安心で、楽しく学べる学校・学級づくりをめざす。本年度の課題解決の取組を生かした活動の推進を図る。 ・ 学校と家庭が連携し、密に連絡を取り合い、更に相互の信頼関係づくりを図る。 ・ 早寝早起き朝ごはん、三点固定運動等を更に推進し、基本的な生活習慣の徹底を図る。

自己評価欄 ①：1学期、②：2学期の評価、 評価・評定は、4段階評定（4：良好 3：概ね良好 2：やや改善が必要 1：改善が必要）